

11s 信頼されるSEに求められる問題解決力研修 ～なぜなぜから始める問題解決～

主催者 (一社)長崎県情報産業協会

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場※	出島交流会館(住所:〒850-0862 長崎市出島町2-11)
・講師	(株)福岡ソフトウェアセンター(FSC)講師:國分 宏悦
・開催月日	2022年10月26日(水)・27日(木)・28日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

※研修会場は変更する場合がありますので最新情報はNISAホームページでご確認下さい。

2. 対象者

1. システム開発に携わる方
2. システム運用に携わる方
(問題が発生している、または問題を解決する立場にある方)

3. カリキュラムの概要

某自動車メーカーで使われる問題解決のスキル、すなわち、問題発見～解決に至る一連のスキルとそれらをワンペーパーにまとめて、ストーリー立てた説明により周囲を動かすスキルを理論と実践を通じて身につけます。本研修ではIT現場にありがちな問題を主として扱っていきます。後半においては参加者自身の問題を扱います。グループ検討によりファシリテーション能力を向上させるとともに、他の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

	科目	時間	科目の内容
10月26日	0. オリエンテーション	0.5hr	オリエンテーション 【講義】
	1. 講座の狙い	0.5hr	・講座のねらい／カリキュラム概要 【講義】
	2. 問題解決の基本	1.5hr	～問題とは？／問題解決とは？～ 【講義】
	3. ファシリテーションとは？	1.5hr	～ファシリテーターの役割と実践ポイント～ 【講義／演習】
	4. 問題解決の全体像	1.0hr	～問題解決の8ステップとは？～ 【講義】
	5. ステップ①:問題の明確化	1.0hr	～問題を明確にしてテーマ化する～ 【講義／演習】
10月27日	6. ステップ②:現状把握	1.0hr	～現状把握に役立つツール～ 【講義／演習】
	7. ステップ③:目標設定	1.0hr	～目標の3要素とは～ 【講義／演習】
	8. ステップ④:真因追究	1.5hr	～要因・原因・真因の違い～ 【講義】
	9. 真因追究のケース演習	2.0hr	・個人ワーク→グループディスカッション →クラス全体共有→講師コメント 【演習】
	10. ステップ⑤:対策立案	1.5hr	～Whyツリーの使い方とは？～ 【講義】
	11. 対策立案のケース演習	1.0hr	・個人ワーク→グループディスカッション 【演習】

	科目	時間	科目の内容
10 月 28 日	11. 対策立案のケース演習の続き	0.5hr	・クラス全体共有→講師コメント 【演習】
	12. ステップ⑥: 対策実行	1.0hr	～Howツリーの使い方とは?～ 【講義】
	13. ステップ⑦: 効果確認	1.0hr	～何をどうやって確認するのか～ 【講義】
	14. ステップ⑧: 成果の定着化	1.0hr	～標準化/後戻りさせないために～ 【講義】
	15. ワンペーパー報告のまとめ方	1.0hr	・ワンペーパー報告書事例 【講義/演習】
	16. 自職場の問題解決	2.0hr	・自職場における問題解決検討 ・個人ワーク→グループディスカッション→クラス共有 【講義/演習】
	17. 総まとめ	0.5hr	・問題解決全体まとめ ・Q&A
	計	21.0hr	

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト

6. 到達目標

1. 問題の発生を未然に予測し、行動することができる
2. 問題が発生した場合でも、問題を冷静に分析し、効果的な対策が打ち出せる
3. 対策の効果とそのコストをワンペーパーで説明し、関係者が納得できる現実的な対策を提案できる